

登山合宿に 行ってきました

「そんなじいじです」

(グループ名)

第二作業所

なかざわ ともひろ

ころんでしまいました。

ぼく。

かたまりました。

しゃがみました。

きまゆうさんと

中村さん

あめふってました

(霧)

たかぎさん

ころんでました。



白駒おとうさん

おかあさん

はぐるま

NO46

2009年10月23日

社会福祉法人

はぐるまの会

広報委員会

後援会

川崎市多摩区菅馬場

1-18-17

TEL 044-946-1308

今年の山は、天狗岳・・・白駒山荘の、おとうさ

んとおかあさんの笑顔に迎えられ、7年ぶりの再会。前日の台風で天候の心配をしていましたが、登山当日は見事な好天、頂上組は2600メートル級の天狗岳の頂上に立つことができました。それぞれの目標地点でも、絶景が見られ、昼寝や、山小屋のベランダで、ちょっと別荘気分です。それだけの目標地点でも、満喫してきました。白駒山荘が2115メートルの場所に立地しているので、澄みきった白駒池ほとりに、たたずむだけでも、気分が解放されます。

ここに来るためには、川崎の暑さの中ハードなトレーニングを、こなさなくてはなりません。暑中真っ只中の練習には、賛否両論ありますが間違えないことは

「山が好き」な仲間たちが、

今年も登山ができた!!
健康な身体は全ての源である・ということなのです。

「はぐるま登山に参加して」

はぐるま管工舎職員 佐々木 綾太

昨年十一月に入職して以来、仲間や職員の方々を通じて様々な話を聞いていた、はぐるま登山。ついに九月一日、本番の日を迎えました。不安と期待が交錯する中、バスに乗り込む仲間たちを見送り、自分自身も車で移動したと思ったら、「あつ」という間に二泊三日が過ぎて行きました。

入念な下見を繰り返し返したため、「山に登る」ときに不安はなかったのですが、仲間の安全な登山を支援することについては、いくら事前には話を聞いても、不安がありました。しかし山岳ボランティアの方たちの力をかり、何よりも、仲間のがんばりに支えられ、予想以上のスピードで、大きな怪我もなく、無事登山を終えられたことが嬉しく、貴重な経験ができたことを感謝しています。

がんばりました
ばく!!



天狗岳頂上にて

第34回 理事会・評議員会報告

第一号議案

作業所・ホーム移転について

事業推進委員会・工房職員会より

報告ならびに説明

はぐるま工房・ホームの移転について

工房は、生活介護事業所で主に農作業を麻生区片平で行っています。緑の多い地域でしたが、最近宅地化が進み、地主さんのご好意で無償で借りている畑のすぐ傍まで、トラックターが入りし、整地が始まりました。いつまでも無償の畑に甘えていることも出来ないことから、新転地を考えています。

只今、候補地として、麻生区黒川に、土地を提供していただける方がいるそうなので、三井ホーム株式会社を仲介に、話を進めています。

畑の作業は、自然現象によつて大きく左右され、人の都合では出来ない作業ですので、365日対応が迫られます。このような作業を続けていくために、日中の作業時間だけでは対応が

できず、かねてから、ホームと共同で行うことが望ましいとの見解が出されてきました。

今回の移転先では、作業所と畑はもちろん、ホーム二カ所が確保できるほどの広さがあることで検討中です。

協議内容

QアンドA

Q・川崎市は黒川を農業振興地区として、どの位長期に考えているか。

A・今の所半永久的に農業振興地区でしょう

Q・近くまで工業団地が入ってきているが、この先の開発はどうなっているか。

Q・近くに、明治大学が農場を造る計画があるので、そのようなことをよく調べたほうが良い。

Q・農業プランに沿った、事業計画でなければならぬと思うが、「はぐるま」としての農業プランはあるのか。

その際は、地域との関連がとてども大事になるので、十分に考慮されたい。

Q・代々、農業に携わっている人が多い地域ですか？

A・多くの人が、古くから農業をしています、今は農業が見直されているので、頑張っている人たちが多いです。

このように、沢山の質問を含め、協議をした結果……

①「はぐるま農業プラン」を固め、それにそった交渉や地域の方たちの理解を深める努力が必要である。

② 周辺の農家の情報を取り、地域全体のことを念頭に入れ、交渉を進めること。

③ 業者に交渉を任せきりではなく、地主さんとコンタクトを取り、理解を深めることを重視していくこと。を条件に現在出ている物件について進めていくことになりました。

○ 川崎に残された希少な農村地域黒川に住み、地域の方たちから、農作業のノウハウを教えてください。

将来にわたって、農業に携わる覚悟をもって、計画を進めます。

土地や建物の交渉については、専門家の意見も聞きながら、先の条件を丁寧に遂行していきたいと思えます。

第二号議案

新型インフルエンザの対策について

依然猛威をふるうインフル

エンザですが、現在のはぐるまでは、集団感染には至っておりません。しかし隣の小学校では、学級閉鎖になっているとのことで、流行の時期に限って、対外的な活動を自粛することにしました。

具体的には、毎週金曜日の販売活動は出かけないことになりました。

「販売活動」は自主製品のへきようさんふきんや

〈エプロン〉〈タオルハンガー〉〈小物類〉を持ち、川崎市内・横浜・東京・相模原などに出かけ、地域の人と直接話をしながら「売る」(イコー・工賃)ことは、仲間たちの重要な活動です。地域の人と対話をし、買って下さることの喜びは、毎日の「労働」に(ふきんの布をたたむ・縫う・糸を切る・袋に入れるなど) 活気を与えてくれます。この活動を二十数年継続し、仲間たちは働くことを学び、地域に出ていく力をつけました。

《さて……》
この活動がなくなるといことは、収入が減り、工賃がない!!という大変な事態になってしまいます。

《実は……》

仲間工賃の収入は、大半が販売で得ている状況ですが、体力的に地域に出ていくことが、難しくなる仲間が増えることで、どのような対策を講じればよいか!!工賃の保障については、かなり前から課題になっていました。

この状態がインフルエンザによって早急に対策を講じなければならなくなり、



(黒川の風景)

現在下請けを増やしたり、新規開拓をしたり、従来の海産物地域販売を拡大したりの努力を行っています。

《労働・・・》については過去何回も「はぐるま」の職員研修で取り上げ、仲間個々の特性を分析し、現在の労働を組み立ててきましたので、下請けも、その場しのぎの労働ではないと思っております。高齢化が進む過程で、見直しが必要な時期である事を考えると、良い機会として捉え、良い方向性を導き出したいものです。

第3号議案

福祉職員処遇改善事業について

自民党最後のおき土産？

福祉職員の報酬の低さは、メテアでもよく取り上げられるテーマになっていました。福祉の仕事は、生活ができず、離職率も高い、よって、職員の雇用環境を改善し、今後増加する人材需要に応えるため、職員の処遇改善のための、助成をする。という趣旨で、補正予算が出されま

した。

助成金使途の対象事業・対象職員が限定されています。

- 生活介護・就労継続支援B型(作業所)
- 共同生活介護(ケアホーム)の職員の給与、賞与及び法定福利

《はぐるま》の場合

推定助成額(21年7月実績・9月支払いの場合)は事業所毎で補助率が違いますが、この助成をもとにサービスマン報酬額の4.7%分を、調整手当てとして支給していく事の提案がありました。具体的には別途周知していきます。

★福祉の現場は「人」で成り立つ、「人」が育つて福祉を支えていく。頑張る職員の生活の保障は、喜ばしいことです。が、今まさに国家予算が検討されている中、限られた予算をどのように使うかは、まさに国の方針が問われる事態です。福祉が充実した政策「全ての人を大切に」の視点に立てば、自然に核のない世界が創られていくのでしょ。

長妻厚生労働大臣が「障害者自立支援法」を廃止する見解を出しましたが、変わるだろう制度の行方は、強引に成立させた自立支援法のようにならないよう、創設に至る過程の中で、当事者や関係者が参画し、「人を大切に」新しい制度に変えていくことが、新政権に望まれます。

この関連の活動として

つくろう私たちの新法

日比谷音楽堂に、仲間や職員が全国大会に参加してきます。このフォーラムは、北海道や沖縄からも参加がある、大きな集会です。過去、支援法の反対運動も6千から一万人を集めた大抗議大会でした。主要政党が、自立支援法をはじめ、今後の障害者施策のあり方について、見解を述べ合う機会となりますので、

10.30 全国大フォーラム

さよなら「自立支援法」

神奈川参議院選挙・川崎市長

選挙は10月25日間で間に合いません

んが、今後の参考になると思います。

9月19・20・21・22・23日

ホームはいま

シルバーウィーク 大型連休は

ホームの定番です。長期休暇の過ごし方については、常に苦慮するところで、しかも、ここ数年祝日を連休にすることが多いため、ホームの休日日中対応が増えています。

今まで、特別にどこかへ、出かけないといけなから、かのように、思いがちでした。なぜなら、

「ゆくり過ぎ」ことが苦手な仲間が多く、何をしても良いのか解らず、部屋の中をただ歩いていたり・ベッドに座っているだけだったり・時には、パニックを誘発してしまいうこともあります。

また、したいことを要求できる仲間の一人ひとりの希望をかなえることが難しいこともあります。「映画に行く」「電車に乗りたい」「温泉に行く」「キチランドに行きたい」「寝ていたい」

5人ホームで皆さんの希望を聞いたら5通りの希望。

これから高齢化を迎え、生涯住む家となるホームでの生活!!「いつも出かけなきゃ」ではなく何気ない生活が、自然にできるようにしていく、取り組み、支援がとて大切です。

この度の 連休や休日の過ごし方の、近況報告をいたします。

地元・保護者も参加の

あぐり・さくら・第二・みどりホーム

合同会食開かれる

九月二十一日連休最中の夕中野島集会所で、4ホームの仲間達や当日の宿直職員、調理担当者、中野島神社宮司中村さん(90歳を過ぎても元気はつらつ)、保護者の方々、保佐人の梶ヶ谷さん、ご近所の方々でジンギスカン鍋を囲み、大いに盛り上がり和やかに楽しいひと時を過ごしました。

日頃なかなか会えない他ホームの担当者との出合いや、ご近所とのふれあいで有意義な連休の一日でした。

★「食」への興味関心は、一日の中で特に大きな楽しみになっています。三度の食事はもちろん、おやつや、お茶の時間は貴重なリラクスタイムとなります。この「食」の楽しみを、日常の私たちを少し変えただけで、仲間にとっては、楽しいイベントになります。

大型台風が接近

一日ホームで何をしていたの?

10月8日(木)

この日、早朝に今年最高の台風接近!!大雨強風注意報が出されましたので、朝6時に作業所の出勤を停止し、ホームで待機をする緊急対応をしました。ホーム職員が対応できない所は、緊急で作業所の職員が入りました。

- 第一 ひめゆり
- さくら
- いずみ
- 第二

秋の一日 趣がありました。

昼からカラット晴れたので、強風で落ちた銀杏が、道路に散乱!! 袋を持ち、手袋をして銀杏取り。ついでに、神社の清掃を社務所の人と一緒にやりました。

...銀杏は調理実習で食べました...

(近隣の5ホーム合同)



第三 あおば あぐり みどり

日頃出来ない日常のことが、

ゆっくり出来ました。

・服の整理・衣替え・買い物
いつも出来ない場所の掃除・趣味の時間
(本・トランプ・DVD鑑賞)個々の ゆっくり
タイム! 各々のホームで過ごしていま
した。

第4 ホーム

休みで ハッピー

よみうりランド商店街
「モンタナ」でケーキを、
食べてきました。女性だ
けのワイワイ

和太鼓クラブからのお知らせ

十二月六日(日)に昨年、一昨年と出演した
「和太鼓療育フォーラム・舞台発表」が今年も
開催され、「はぐるま」の太鼓仲間も出演しま



かわさきかえるプロジェクト

《知ってますか》
(記事 ホームページより抜粋)

す。昨年もホームの方々や、保護者の方も来
場して下さいましたが、本年も是非お出かけ
下さい。日頃の仲間達の練習成果を観ていた
だきたくお願い致します。
国立オリンピック記念青少年総合センター
大ホールで行われる催しとしては今年が最後
かも知れませんが、仲間達にも声をかけ多く
の関係者で応援も考えています。

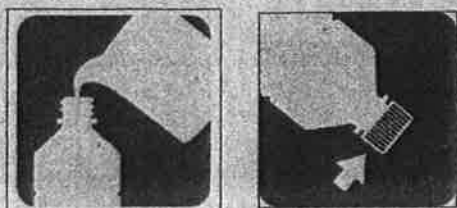
それに、とても大切なこと。集めてリサイク
ルすれば、気持ちが変わる、暮らし方も変わる。
「石けん」や「バイオディーゼル燃料」に作り変え
れば資源です。

家庭で消費される食用
油の使用後は、下水に
流されるか、ゴミとし
て燃やされていますが、
水と空気を汚せば
地球は熱くなるばかり

9月から多摩区でも、地球温暖化をこれ以

多摩区の回収場所は、 中野島1-5-11 川合さん宅
毎日 9時~17時 かえるマークのポリタンクに入れる

- 【出し方】
1. 油をペットボトルに入れる
 2. しっかりとキャップを閉める
 3. 回収ポイントにあるポリタンクにそそぎ入れて、
ペットボトルを持ち帰り、また油をためておく



「てんぷら油」とは植物性食用油の総称です。ラードなどの動物性油脂、
リセット、エコナなどの油脂は回収いたしません。消費期限切れの油 OK です。

リサイクル石けん[きなりっこ]をプレゼントします。

※廃食油は揮発性がなく危険ではありません

【お問合せ】 多摩区役所 企画課 ☎044-935-3147

上加速させないため、身近な地域で取り組もう
と、「使用済み天ぷら油の回収」をしています。
菅馬場・中野島地区は「はぐるま」の生活範
囲ですが、この地区が軌道に乗らず、関係者
は協力していただける人を、求めています。